

「枕草子」は、今から約千年も前に書き記された随筆です。その中の第一段では、四季それぞれに見たことや感じたことを書きつづっています。

枕草子 (第一段)

清少納言

春は、あけぼの。
 やうやう白くなりゆく山ぎは、すこし
 あかりて、
 紫だちたる雲の、細くたなびきたる。

*あけぼの：朝。
 *やうやう：だんだん。
 *山ぎは：遠くの山々の境目。

夏は、夜。
 月のころは、さらなり。
 闇もなほ。
 螢のおほく飛びちがひたる、
 また、ただ一つ二つなど、ほのかに
 うち光りて行くも、をかし。
 雨など降るも、をかし。

*さらなり：いふまでもない。
 *なほ：まだ、やはり。
 *おほく：おほく。
 *なほ：いふまでもない。

秋は、夕ぐれ。
 夕日のさして、山のはいと近うなりた
 るに、
 鳥の、寝どころへ行くとて、三つ四
 つ、二つ、三つなど、飛びいそぐさ
 へ、あはれなり。
 まいて、雁などの列ねたるが、いと
 小さく見ゆるは、いとをかし。
 日入りはてて、
 風のおと、虫の音など、はたいふべ
 きにあらず。

*夕ぐれ：夕。
 *山のはいと：山は、山。
 *いそぐさへ：いそぐさへ。
 *あはれ：あはれ。
 *雁：雁。
 *はたいふべき：はたいふべき。
 *なほ：いふまでもない。

冬は、つとめて。
 雪の降りたるは、いふべきにもあらず。
 霜のいと白きも。
 また、さらでもいと寒きに、
 火などいそぎおこして、炭もてわた
 るも、いとつきつきし。
 屋になりて、ぬるくゆるびもていけば、
 火桶の火も、白き灰がちになりて、
 わろし。

*つとめて：つとめて。
 *いふべきにもあらず：いふべきにもあらず。
 *いと：いと。
 *寒き：寒き。
 *炭もてわたるも：炭もてわたるも。
 *つきつきし：つきつきし。
 *ぬるくゆるびもていけば：ぬるくゆるびもていけば。
 *火桶の火も、白き灰がちになりて、わろし：火桶の火も、白き灰がちになりて、わろし。
 *わろし：わろし。

雨ニモマケズ

宮沢賢治

雨ニモマケズ
 風ニモマケズ
 雷ニモ夏ノ暑サニモマケズ
 丈夫ナカラタラモチ
 欲ハナク
 決シテ瞋ラズ
 イツモシズカニワラツテイル
 一日ニ玄米四合ト
 味噌ト少シノ野菜ヲタベ
 アラユルコトヲ
 ジブシクカンジョウニ入レズニ
 ヨクミキキシワカリ
 ソシテワスレス
 野原ノ松ノ林ノ蔭ノ
 小サナ萱アキノ小屋ニイテ
 東ニ病氣ノコトモアレバ
 行ツテ看病シテヤリ
 西ニツカレタ母アレバ
 行ツテソノ箱ノ東ヲ負イ
 南ニ死ニソウナ人アレバ
 行ツテコワガラナクテモイイトイイ

*瞋らす：おこらす。

*カマクラ：軒。

北ニケンカヤソシヨウガアレバ
 ツマライカハラヤメロトイイ
 ヒデリノトキハナミダラナガシ
 サムサノツハオロオロアルキ
 ミシナニテクノホトヨバレ
 ホメラレモセズ
 クニモサレス
 ソウイウモノニ
 ワタシハナリタイ

*カマクラ：軒。
 *カマクラ：軒。
 *カマクラ：軒。

*カマクラ：軒。
 *カマクラ：軒。
 *カマクラ：軒。

社会学習プリント

『国土の気候の特色』『寒い土地のくらし』

名前

月 日()

国土の気候の特色

【日本の気候】

①日本の気候について、教科書 p.42～47 の資料や文章から読み取れることを考えてみましょう。



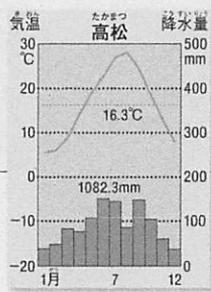
- ・()は、日本の気候の大きな特色。
- ・つゆとは、()月ごろから()月ごろにかけて、雨が多くふる時期のこと。農業にとっては、めぐみの雨となる大切な時期。
- ・()から()にかけて、台風がやってくる。特に、()や、九州、四国地方は、台風の被害が多い地域である。
- ・また、日本では 夏と冬に()がふく。(夏 ・ 冬)には、南東〔太平洋〕から風がふき、太平洋側に多くの雨をふらせ、(夏 ・ 冬)には、北西〔ユーラシア大陸〕から風がふき、日本海側に雨や雪をもたらす。
- ・日本は、(理由⇒)ので、北と南で大きく気候がことなっている。



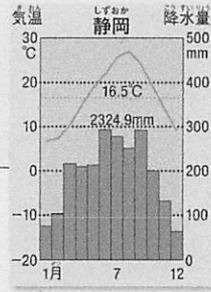
季節風 夏には、太平洋から 季節風が 吹き、太平洋側に たくさんの 雨を ふらせます。冬の季節風は、日本海を わたってくる ときに 水分を たくさん ふくみます。そして、山地に ぶつかると

- ・季節風と 山地のえいきょうによって、太平洋側では、(夏 ・ 冬)に雨が多く、日本海側では、(夏 ・ 冬)に多くの雪がふる。
- ・日本列島の内側の()は、降水量が少ない。

- ・土地の(高い ・ 低い)ところでは、気温が低い。



瀬戸内海の気候 ● 高松
瀬戸内海の気候は太平洋側の気候と似ていますが、降水量がやや少ないようです。



太平洋側の気候 ● 静岡
太平洋側は、気温の高いあたたかい地域で、夏や秋によく雨がふります。

・左のグラフは、(ぼう・折れ線) で月別の降水量が示され、(ぼう・折れ線) で平均気温が示されている。

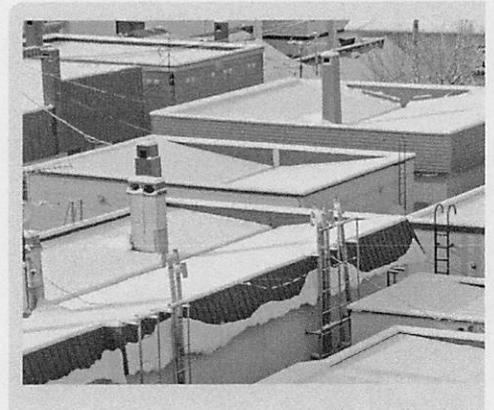
寒い土地のくらし

—北海道(ほっかいどう)—

【北海道の家やくらしのくふう】

①北海道の家やくらしのくふうについて、教科書p.56～57の資料や文章から読み取れることを考えてみましょう。

- ・北海道は、冬は()、夏は()気候で、毎年多くの雪がふる。
- ・札幌市は人口が多く、約()万人がくらししている。
- ・札幌の年平均気温は()°C、東京は()°Cである。
- ・()に備えて、北海道の家には、()がたくさん用いられている。
- ・玄関フードがあったり、二重まどを使ったりするなど、()のように、くふうされている。
- ・屋根の雪が下に落ちないようにくふうされた 無落雪の家が多く見られる。屋根が()、多くの雪がつもらないようにくふうされている。



【札幌市に住む人々の生活】

②札幌市に住む人々は、雪とともにどのような生活を営んでいるのか
教科書p.58～59の資料や文章から、読み取れることを考えてみましょう。

・世界的に見ても、人口が100万人以上の都市で毎年(

)のは、札幌市だけ。

・札幌市では、雪対策に力を入れている。

雪の多い日は、夜中から朝の通きん時間

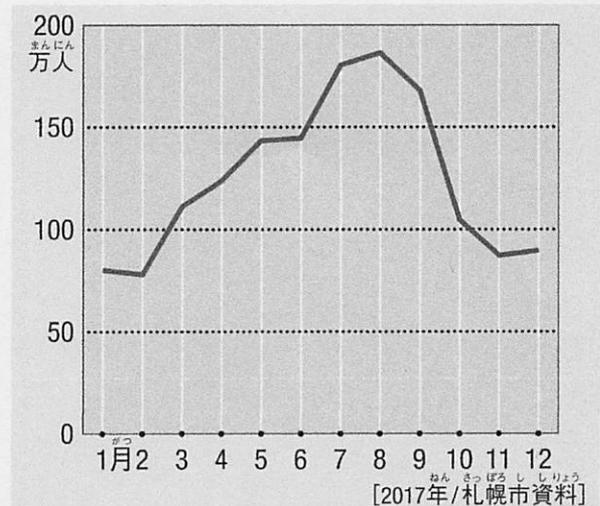
まで、1日に除雪車約()台、

約()人で 道路などの雪を取

りのぞく。

・除雪した雪は、約70か所ある(

)に運ぶ。



↑ 7 札幌市を おとずれた 観光客数

・北海道は、(夏 ・ 冬)がいちばんの観光シーズン。()

をきよ点に、各地に移動する方もいる。

・一方、(夏 ・ 冬)は、観光客が多くない。札幌市は、

()を行い観光客増加に努めている。今では、多くの人々を集める

世界的に知られるイベントになった。

・もともとは、()しようと、中学生や高校生が始め

たお祭りがきっかけ。市民を悩ませていた()が有効に利用されている。

【十勝地方の人々の産業】

③十勝地方の人々は、自然を生かしてどのような産業を行っているのかについて、教科書p.60～61の資料や文章から読み取れることを考えてみましょう。



・一つの畑に、去年とはちがうものを植えることを()という。こうすることで、()ことができる。一つの種類の作物をつくれなくなると、うまういなくなる。

・十勝地方の農家は、平均で約40ha(ヘクタール)の畑をもっている。これは、全国の農家の平均と比べて()倍以上の広さ。十勝地方の気候に合った(作物5種類⇒)などをつくっている。

【北海道に伝わるアイヌ文化】

④北海道に伝わるアイヌ文化について、教科書p.62～63の資料や文章から読み取れることを考えてみましょう。

・北海道で昔から生活していたのは、()であるアイヌの人々。

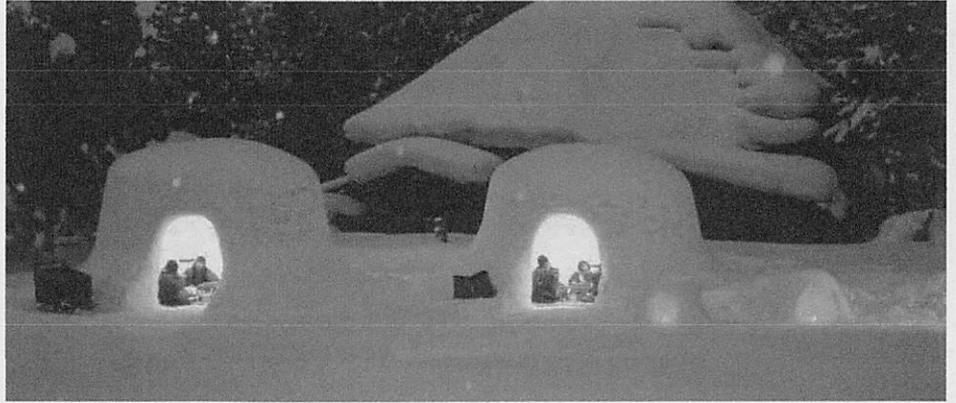
・アイヌの人々は、身近にある木や草でつくった()とよばれる家に住み、魚や動物、山菜をとったり、あわなどのざっこくを育てたりしながら、()の中でくらしていた。

・本州やロシアなどと交流して、(3つ⇒)などを手に入れていた。

・北海道の各地の地名には、自然とともに生きてきたアイヌの人々の言葉が反えいされている。

【雪国の人々の暮らし】

⑤雪国の人々の暮らしについて、教科書p.64～65 の資料や文章から読み取れることを考えてみましょう。



↑8 かまくら

- ・(場所⇒)のあたりは、日本の中で雪が多く積もる地域の一つ。
- ・道路の除雪などは、積雪が多い日の(早朝 ・ 夕方)に行く。
- ・雪を、川まで流してすてるための()という水路が整備されている。
- ・2月に開かれる()は、雪国ならではの伝統行事。全国から、外国からも多くの人がおとずれる。
- ・横手市は、2005(平成 17)年、()を定めた。雪から暮らしを守るとともに、雪を生かし、雪とともにくらすまちづくりを進めている。
- ・日本海側の雪が多い地域では、(方法①⇒)、(方法②⇒)する人のすがたが見られる。雪の冷たさは、野菜をおいしく保つには ちょうどよいといわれている。

もしかしたら、おうちの人の出身地が、寒い地域の方もいるのではないのでしょうか。実は、麻布小学校の先生の中にも寒い地域にゆかりのある先生方も多いです。ぜひ、聞いてみてください。
もしくは、今回勉強した「寒い土地」ではなく、「あたたかい地域」の出身地の人もあるかもしれません。教科書p.48～55 を読んで、調べてみてください。



社会学習プリント

『国土の気候の特色』『寒い土地のくらし』

名前

月 日()

国土の気候の特色

【日本の気候】

①日本の気候について、教科書 p.42～47 の資料や文章から読み取れることを考えてみましょう。



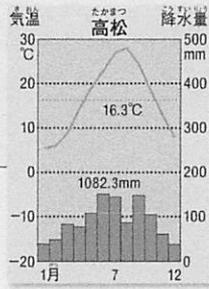
- ・(四季の変化があること)は、日本の気候の大きな特色。
- ・つゆとは、(6)月ごろから(7)月ごろにかけて、雨が多くふる時期のこと。農業にとっては、めぐみの雨となる大切な時期。
- ・(夏)から(秋)にかけて、台風がやってくる。特に、(沖縄)や、九州、四国地方は、台風の被害が多い地域である。
- ・また、日本では 夏と冬に(季節風)がふく。(夏 ・ 冬)には、南東〔太平洋〕から風がふき、太平洋側に多くの雨をふらせ、(夏 ・ 冬)には、北西〔ユーラシア大陸〕から風がふき、日本海側に雨や雪をもたらす。
- ・日本は、(理由⇒ 南北に長い)ので、北と南で大きく気候がことなっている。



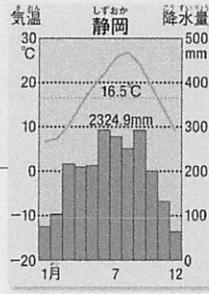
④ 季節風 夏には、太平洋から 季節風が 吹き、太平洋側に たくさんの 雨を ふらせませす。冬の 季節風は、日本海を わたってくる ときに 水分を たくさん ふくみます。そして、山地に ぶつかる

- ・季節風と 山地のえいきょうによって、太平洋側では、(夏 ・ 冬)に雨が多く、日本海側では、(夏 ・ 冬)に多くの雪がふる。
- ・日本列島の内側の(瀬戸内海)は、降水量が少ない。

- ・土地の(高い ・ 低い)ところでは、気温が低い。



瀬戸内海の気候●高松
瀬戸内海の気候は太平洋側の気候と似ていますが、降水量がやや少ないようです。



太平洋側の気候●静岡
太平洋側は、気温の高いあたたかい地域で、夏や秋によく雨がふります。

・左のグラフは、(ぼう・折れ線) で月別の降水量が示され、(ぼう・折れ線) で平均気温が示されている。

寒い土地のくらし

—北海道(ほっかいどう)—

【北海道の家やくらしのくふう】

①北海道の家やくらしのくふうについて、教科書p.56～57の資料や文章から読み取れることを考えてみましょう。

・北海道は、冬は(寒く)、夏は(すずしい)気候で、毎年多くの雪がふる。

・札幌市は人口が多く、約(190)万人がくらししている。

・札幌の年平均気温は(8.9)°C、東京は(15.4)°Cである。

・(雪や寒さ)に備えて、北海道の家には、(断熱材)がたくさん用いられている。

・玄関フードがあったり、二重まどを使ったりするなど、(室内のあたたかさを)にがさない)ように、くふうされている。

・屋根の雪が下に落ちないようにくふうされた 無落雪の家が多く見られる。屋根が(屋根が内側にむかってかたむき)、多くの雪がつもらないようにくふうされている。



5 無落雪の家と屋根 屋根の中央が低くなっています。

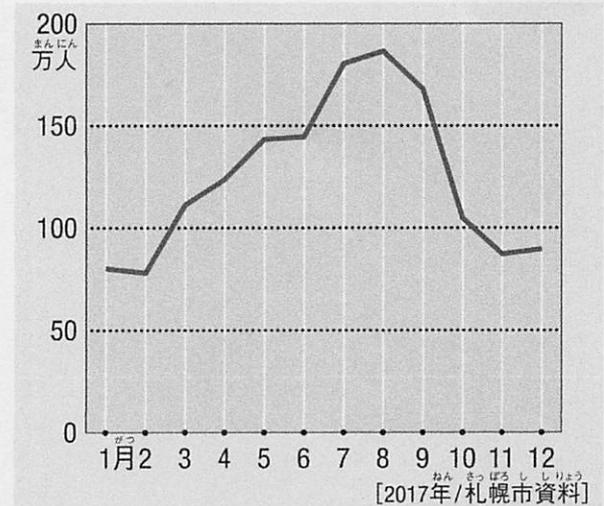
【札幌市に住む人々の生活】

②札幌市に住む人々は、雪とともにどのような生活を営んでいるのか
教科書p.58～59の資料や文章から、読み取れることを考えてみましょう。

・世界的に見ても、人口が100万人以上の都市で毎年(6m近くもの 雪が
ふる)のは、札幌市だけ。

・札幌市では、雪対策に力を入れている。
雪の多い日は、夜中から朝の通きん時間
まで、1日に除雪車約(1000)台、
約(3000)人で 道路などの雪を取
りのぞく。

・除雪した雪は、約70か所ある(雪たい
積場)に運ぶ。



↑ 7 札幌市を おとずれた 観光客数

・北海道は、(夏 ・ 冬)がいちばんの観光シーズン。(札幌)
をきよ点に、各地に移動する方もいる。

・一方、(夏 ・ 冬)は、観光客が少ない。札幌市は、(雪まつり)
を行い観光客増加に努めている。今では、多くの人々を集める 世界的に
知られるイベントになった。

・もともとは、(すてられた雪を再利用)しようと、中学生や高校生
が始めたお祭りがきっかけ。市民を悩ませていた(雪)が有効に利用され
ている。

【十勝地方の人々の産業】

③十勝地方の人々は、自然を生かしてどのような産業を行っているのかについて、教科書p.60～61の資料や文章から読み取れることを考えてみましょう。



・一つの畑に、去年とはちがうものを植えることを(輪作)という。こうすることで、(作物の病気を防ぐ)ことができる。一つの種類の作物をつくれなくなると、うまくいなくなる。

・十勝地方の農家は、平均で約40ha(ヘクタール)の畑をもっている。これは、全国の農家の平均と比べて(20)倍以上の広さ。十勝地方の気候に合った(作物5種類⇒ じゃがいも、 あずき、 スイートコーン、 てんさい、小麦(順不同))などをつくっている。

【北海道に伝わるアイヌ文化】

④北海道に伝わるアイヌ文化について、教科書p.62～63の資料や文章から読み取れることを考えてみましょう。

- ・北海道で昔から生活していたのは、(先住民族)であるアイヌの人々。
- ・アイヌの人々は、身近にある木や草でつくった(チセ)とよばれる家に住み、魚や動物、山菜をとったり、あわなどのざっこくを育てたりしながら、(豊かな自然)の中でくらしていた。
- ・本州やロシアなどと交流して、(3つ⇒ 絹、 木綿、 しつき(順不同))などを手に入れていた。
- ・北海道の各地の地名には、自然とともに生きてきたアイヌの人々の言葉が反えいされている。

【雪国の人々の暮らし】

⑤雪国の人々の暮らしについて、教科書p.64～65の資料や文章から読み取れることを考えてみましょう。



↑8 かまくら

- ・(場所⇒ 秋田県横田市)のあたりは、日本の中で雪が多く積もる地域の一つ。
- ・道路の除雪などは、積雪が多い日の(早朝 ・ 夕方)に行く。
- ・雪を、川まで流してすてるための(流雪こう)という水路が整備されている。
- ・2月に開かれる(かまくら)は、雪国ならではの伝統行事。全国から、外国からも多くの人がおとずれる。
- ・横手市は、2005(平成17)年、(「雪となかよく暮らす条例」)を定めた。雪から暮らしを守るとともに、雪を生かし、雪とともにくらすまちづくりを進めている。
- ・日本海側の雪が多い地域では、(方法①⇒ 雪に野菜をうめたり)、(方法②⇒ 小屋に雪を入れてその中に野菜を保存したり (①②順不同))する人のすがたが見られる。雪の冷たさは、野菜をおいしく保つには ちょうどよいといわれている。

もしかしたら、おうちの人のお出身地が、寒い地域の方もいるのではないのでしょうか。実は、麻布小学校の先生の中にも寒い地域にゆかりのある先生方も多いです。ぜひ、聞いてみてください。

もしくは、今回勉強した「寒い土地」ではなく、「あたたかい地域」のお出身地の方もいるかもしれません。教科書p.48～55を読んで、調べてみてください。



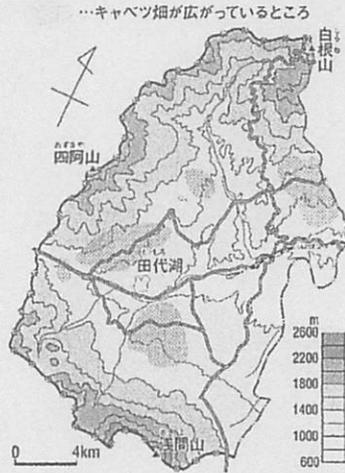
1-3. 高い土地の暮らし

5年 組 名前

1 下の地図やグラフを見て、次の問いに答えましょう。

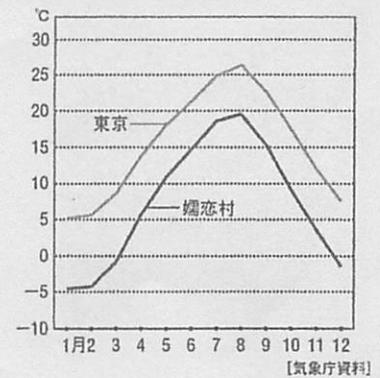
教科書p.33③

「嬭恋村の土地利用」



教科書p. 32②

「嬭恋村と東京の月別平均気温」



(1) 左の地図で、高さが1400m以上のところに色をぬりましょう。

(2) 右のグラフから、嬭恋村の気温は東京の気温と比べてどのようになっていることがわかりますか。書きましょう。

(3) 左の地図から、主にキャベツ畑が広がっている土地の高さの範囲を読み取りましょう。

2 下のグラフや写真を見て、次の問いに答えましょう。

(1) 右のグラフを見て、群馬県産のキャベツが多く取り引きされている時期として正しいものに○をつけましょう。

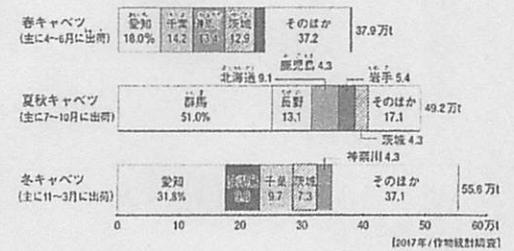
() 4～6月

() 7～10月

() 11～3月

(2) なぜ、(1)の時期に群馬県産のキャベツが多く取り引きされているのでしょうか。理由を書きましょう。

教科書 p.37⑥ 「季節ごとのキャベツの産地」



(3) 教科書 p. 37⑥の写真は、予冷庫の様子です。予冷庫では、どのようなことが行われているのでしょうか。書きましょう。

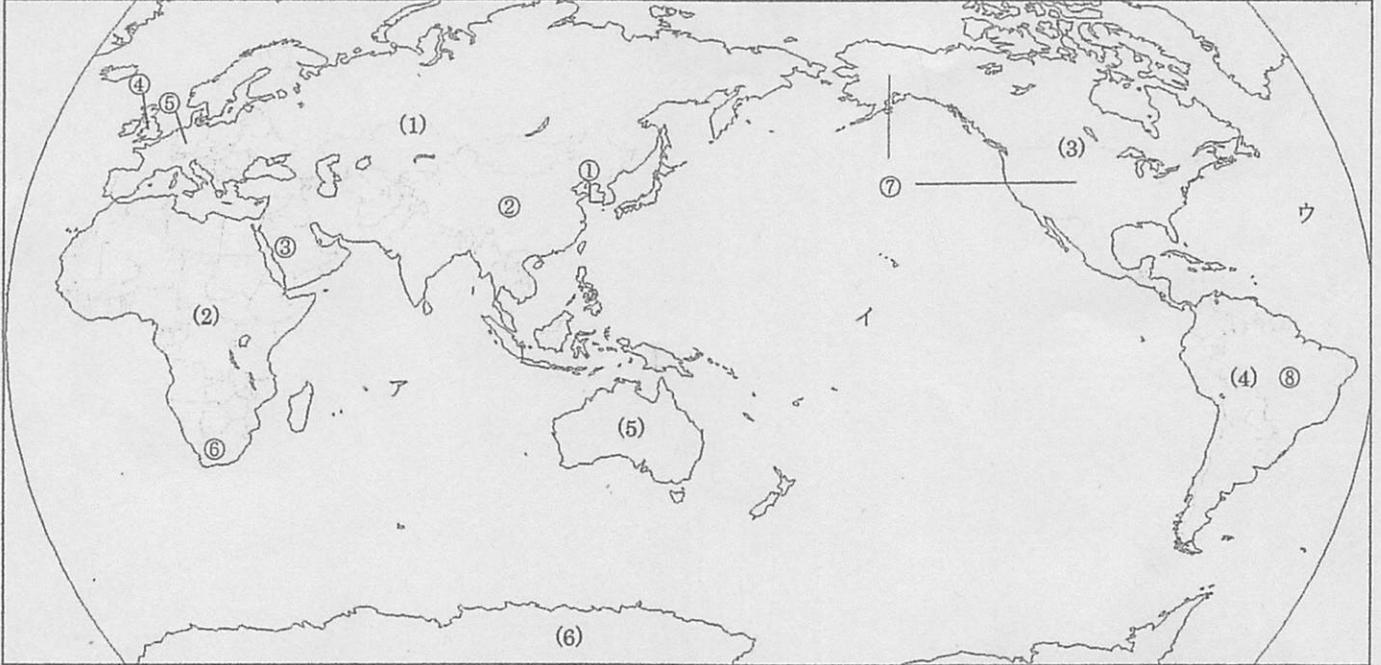
教科書 p.37⑥
「予冷庫で冷やす」

1-1. 世界の中の国土

5年 組 名前

あやさんたちは、世界の中の日本の国土について調べています。

1 下の地図の①～⑧の国、(1)～(6)の大陸、ア～ウの海洋の名前を答えましょう。



- | | | |
|----------------------|--------------------|------------------|
| ① [大韓民国 (韓国)] | ② [中華人民共和国 (中国)] | ③ [サウジアラビア] |
| ④ [イギリス] | ⑤ [ドイツ] | ⑥ [南アフリカ共和国] |
| ⑦ [アメリカ合衆国 (アメリカ)] | ⑧ [ブラジル] | |
| (1) [ユーラシア] 大陸 | (2) [アフリカ] 大陸 | (3) [北アメリカ] 大陸 |
| (4) [南アメリカ] 大陸 | (5) [オーストラリア] 大陸 | (6) [南極] 大陸 |
| ア [インド洋] | イ [太平洋] | ウ [大西洋] |

2 下の地図を見て、次の問いに答えましょう。地図帳や地球儀を自由に使ってかまいません。



(1) 日本の国土の位置を、次の方法で言い表してみましょう。

①緯度と経度を使って、どのような位置を中心に広がっているか

[例] 日本の国土は、北緯35度、東経135度を中心に広がっている。

②大陸や海洋の名前や方位を使って

[例] 日本の国土は、ユーラシア大陸の東、太平洋の西(北西)にある。

(2) 北方領土について、次の問いに答えましょう。

①左の地図で、北方領土のある場所に○印をつけましょう。解答省略

②北方領土を占領している国の名前を書きましょう。

ロシア連邦 (ロシア)

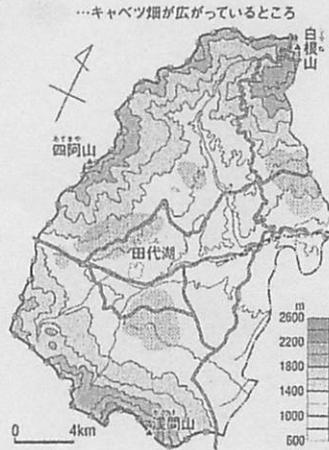
1-3. 高い土地の暮らし

5年 組 名前

1 下の地図やグラフを見て、次の問いに答えましょう。

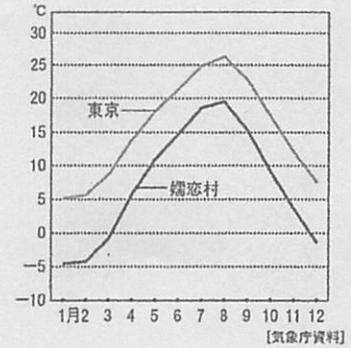
教科書p.33③

「嬭恋村の土地利用」



教科書p. 32②

「嬭恋村と東京の月別平均気温」



(1) 左の地図で、高さが1400m以上のところに色をぬりましょう。

(2) 右のグラフから、嬭恋村の気温は東京の気温と比べてどのようになっていることがわかりますか。書きましょう。

[例] 一年を通して、気温が低い。

(3) 左の地図から、主にキャベツ畑が広がっている土地の高さの範囲を読み取りましょう。

1000m~1400m

2 下のグラフや写真を見て、次の問いに答えましょう。

(1) 右のグラフを見て、群馬県産のキャベツが多く取り引きされている時期として正しいものに○をつけます。

() 4~6月

(○) 7~10月

() 11~3月

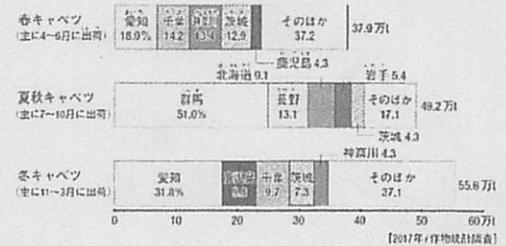
(2) なぜ、(1)の時期に群馬県産のキャベツが多く取り引きされているのでしょうか。理由を書きましょう。

[例] すずしい気候を生かして、ほかの産地とちがう時期に出荷するから。

(3) 教科書p. 37⑧の写真は、予冷庫の様子です。予冷庫では、どのようなことが行われているのでしょうか。書きましょう。

[例] 収穫したキャベツを、出荷前に冷やしている。

教科書 p.37⑧ 「季節ごとのキャベツの産地」



教科書 p.37⑧

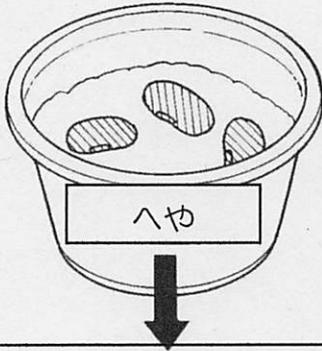
「予冷庫で冷やす」

発芽に必要なもの(2)	5年	組	名前
-------------	----	---	----

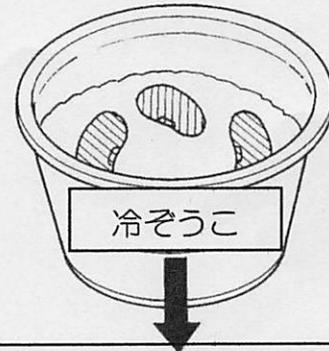
○種子が発芽するためには、温度が関係あるかどうかを調べましょう。

予想 (予想とそう考えた理由)

(ア) へやに置く



(イ) 冷そうこの中に置く



結果

(ア)	(イ)
-----	-----

(ア) と (イ) を比べてわかったこと

わかったこと

気づいたこと

Blank area for recording observations and conclusions from the experiment.